

愛産研 ニュース

愛産研ニュース
平成14年12月5日発行

No. 9

編集・発行
愛知県産業技術研究所 企画連携部
〒448-0003 刈谷市一ツ木町西新割
TEL 0566(24)1841 ・FAX 0566(22)8033
URL <http://www.airi.aichi-iic.or.jp/>
E-mail knk-webmaster@aichi-iic.or.jp

12月号
2002

今月の内容 エクストリーム・プログラミング
変性クレーを用いたアクリル樹脂系コンポジット
半凝固成形した AZ91D マグネシウム合金の加工熱処理

エクストリーム・プログラミング

最近の動きの速いビジネス展開は、ソフトウェア開発にも影響を与えるようになっており、例えば携帯電話のソフトウェア開発は、短期間で新機能を追加することが要求されています。従来のソフトウェア開発においては、最初に開発側とユーザとで仕様を決め、仕様のもれがないように大量のドキュメントを生成しながらシステム開発する方法が一般的でした。この手法は大規模システムでは間違いない着実な方法といえますが、ビジネスの動きが速く仕様が流動的である現代では、うまくいかない場合が多くなってきました。

そのような状況の中で近年、小中規模のソフトウェア開発方法論であるエクストリーム・プログラミング（以下「XP」と略記）が注目されています。エクストリームは「究極の」という意味であり、「究極のソフトウェア開発方法」とも紹介されていますが、ここでのエクストリームという言葉の意味は、ソフトウェア開発の現場でこうした方がよいと経験的に感じてきた手法を「極限」まで実践するもの、と言えます。

XPはプログラマ中心のソフトウェア開発方法論であり、コミュニケーション、シンプル、フィードバック、勇気が4つの価値とされています。プログラマ、ユーザ、管理者はコミュニケーションを取り、問題が拡大しないようにします。システムの作りや機能はシンプルほど良く、ユーザ要求やテスト結果等のフィードバックを与えることにより、システムを常に生きた状態にします。これらコミュニケーション、シンプル、フィードバックがあれば勇気を持って開発を進めればよく、シンプルなシステムにするために既存のコードを捨て去ることも推奨されます。また、これらの価値をもとに、XPには、ペアプログラミング、コードの共同所有等、12のプラクティス（実践項目）があります。例えば、ペアプログラミングでは、1台のマシンに向かい2人共同でプログラミングすることで、コードの共同所有すると共にお互いの方法を学び、誰でも他人のコードを修正できるようにして、プログラム開発の効率化を図っています。

XPは小中規模のソフトウェア開発方法論のため、今後当地域の中小企業にも適用が広がると思われます。当研究所では今年度Javaプログラミング研修を行います。XPを適用するとき最も相性が良いのがJava言語ともいわれ、研修の中でXPについても紹介する予定です。

（技術支援部機械電子室 依田康宏）

